

株式会社 千葉ショッピングセンター

1 団体概要

設立年月日	昭和36年11月1日	資本金	50,000 千円	(うち市	20,000 千円	40.0%)
設立目的	旧千葉駅の移転に伴い、駅周辺商店街の優先的出店を促すなど地元商業の振興に重点を置き、千葉市中部の活性化に寄与することを目的としている。					
所在地	千葉市中央区本千葉町15番1号					
代表者	代表取締役社長 森 雅彦					
所管課	経済農政局経済部産業支援課					

2 組織状況 (令和7年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	4 (3)	4	8 (3)
うち市OB	2 (1)	0	2 (1)
うち市派遣	0		
職員	3		
うちプロパー	0		
うち市OB	2		
うち市派遣	0		
計	7		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧書で記載している。

職員 平均年齢	61.3 歳	職員平均 給与(年額)	4,845,129 円	役員平均 報酬等額(年額)	9,568,915 円
------------	--------	----------------	-------------	------------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

3 財務状況 (単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度
営業利益	159,195,612	181,082,371	189,787,016
経常利益	162,265,879	184,468,969	199,023,054
税引前当期純利益	161,666,400	184,278,608	194,206,381
当期純利益	109,827,073	121,268,124	130,195,187
総資産(A)	3,568,904,456	3,731,097,671	3,834,470,361
負債(B)	672,052,309	717,977,400	696,154,903
純資産(A-B)	2,896,852,147	3,013,120,271	3,138,315,458
市補助金		0	0
市委託料		0	0

※常勤役員についての平均

4 実施事業

(単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	事業費※	
				市支出額	依存率
ショッピングセンター事業	自主	千葉ショッピングセンターの管理運営	640,616,499	0	0.0

※R6年度決算額

指定管理者として管理する公の施設	なし
------------------	----

情報公開	HPアドレス	www.chibasc.co.jp
	公開情報	<input type="checkbox"/> 定款・寄付行為 <input type="checkbox"/> 役員名簿 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 経営改善計画

5 評価指標(共通指標)

(単位: %)

	評価指標	R4年度	R5年度	R6年度
自立性	補助金依存率	0.0	0.0	0.0
	受託事業収入率	0.0	0.0	0.0
	自主事業比率	100.0	100.0	100.0
効率性	人件費比率	12.5	13.1	13.5
	販管費比率	99.9	100.0	100.0
安全性	自己資本比率	81.2	80.8	81.8
	流動比率	1589.8	1487.7	1722.5
	固定長期適合率	48.3	42.0	36.0

6 外郭団体による評価

総合評価	<p>今年度は、退店が5店舗、出店が3店舗あり、総店舗数は62店舗となった。経済環境の好転により、テナントの売上げや来街者数は、ほぼコロナ禍前の水準まで回復している。</p> <p>また、経年劣化した施設設備の補修や更新を行ったほか、地域貢献活動として、引き続き千葉駅周辺の大型店との共催による「千葉えきまつり」の開催や、障害者の自立支援活動へのスペースの提供を行った。</p> <p>この結果、売上高は、前年度比100.2%と、前年度と同水準となったが、最終の当期純利益は、施設整備費が低額にとどまったこともあり、前年度比107.4%の増益となった。</p>
今後の方針	<p>緩やかな景気回復に伴い全店売上げ及び来街者数は、概ねコロナ禍前の水準まで回復してきているところであるが、経済や物価を巡る不確実性は引き続き高く、今後ともテナントの退店を防止するための支援が必要である。施設設備には、老朽化対策や修繕・更新を要するものがある。また、安全対策として、火災や地震等が発生した際の被害を最小限にとどめる対策も求められる。そのほか、ポストコロナで復活したイベント等を支援し、地域貢献に努めていく必要がある。このような認識の下、本市中心部の商業の振興と活性化に寄与する地域密着の商業施設としてさらなる魅力の向上を目指し、引き続き「営業活動」「施設整備等」「安全対策」「地域貢献活動」の4つの事業に取り組んでいく。</p>

7 所管局による評価

総合評価	テナントの退店が5店舗あったものの、経年劣化した施設設備の補修や更新を行ったほか、地域貢献活動として、引き続き千葉駅周辺の大型店との共催による「千葉えきまつり」の開催や、障害者の自立支援活動へのスペースの提供を行うなど、地域貢献に取り組んでいただいた。
今後の方針	令和7年度は、先行き不透明な経済動向を見据えながら、千葉ショッピングセンター商店街振興組合等と連携し、テナントへの事業継続支援を行うことで、退店の防止や新たなテナント誘致を行うとともに、災害発生時等の安全対策を講じるなど、貴社の強みである地域密着の商業施設として積極的な事業展開を行っていただきたい。